

令和 2 年 7 月 8 日

大型公共施設建設調査特別委員会

市民部スポーツ振興課
都市整備部公園課

四ツ池公園運動施設について

- 1 陸上競技場のタイプ等について … 資料 1-1、資料 1-2
- 2 遠州灘海浜公園（篠原地区）野球場にかかわる最近の動き … 資料 2

※資料提出：陸上競技場に係る他都市事例

陸上競技場のタイプについて

R2.3.23 大型公共施設建設調査特別委員会で提出した、「陸上競技場における他都市の事例」などから、陸上競技場は概ね3つのタイプに分類されると考えられる。

1 陸上をメインとした競技場

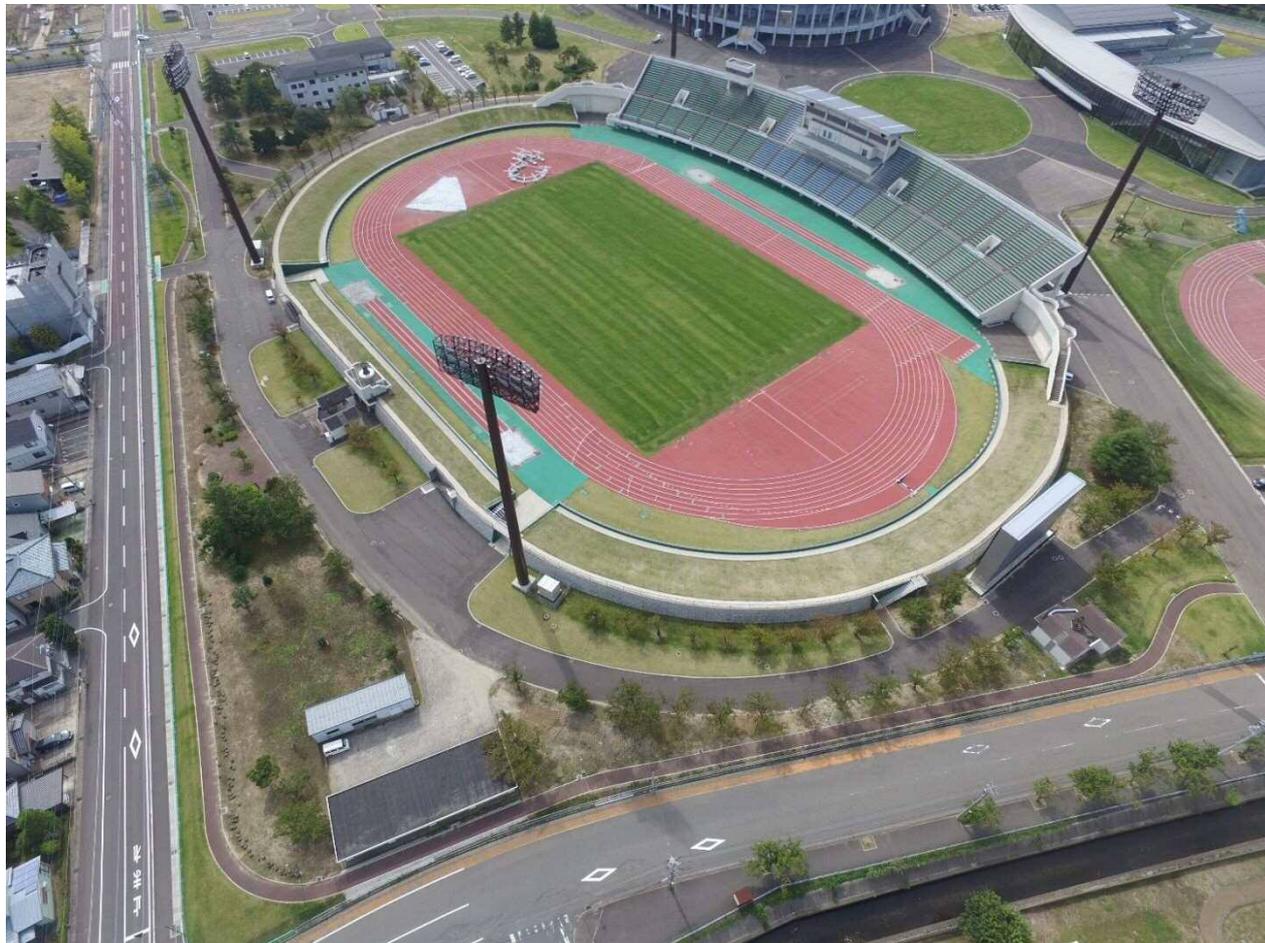
(1) 主な特徴

- 陸上競技に特化した施設維持・管理が可能(優先的な利用が可能)
- 多競技対応施設に比べ、建設・維持管理費用を低く抑えられる可能性がある
- 陸上のみでは、利用が限定され、大きな利用料金は期待できない可能性がある

(2) 具体例

① 福井県営陸上競技場(1種) 愛称：9.98 スタジアム

- 主な利用は陸上競技
- 平成 29 年 9 月 9 日に開催された「第 86 回日本学生陸上競技対抗選手権大会」の男子 100m 決勝で、桐生祥秀選手が日本人初となる 9 秒台の記録(9.98 秒)を樹立



②博多の森陸上競技場(1種・WAクラス2)

- 直近(2019)の日本陸上選手権大会が開催されている
- 隣接(公園区域)サッカー場をJ2アビスパ福岡が使用しているため、基本的には陸上競技場を中心に使用されている
- 国際陸連公認施設であり、この会場での記録が世界記録として公認される



③四ツ池公園陸上競技場(2種)

- 中高生が日々の練習場所として利用しており、全天候型舗装の競技場で公認競技会を意識した練習を行うことが可能
- 平成30年度の利用者は約23万人。陸上のみの利用料収入13,578千円と他施設に比べて多い
- 県西部陸上選手権大会、浜松市小学校陸上大会など、地域の大会を実施

2 陸上やサッカーなど複数競技が共存する多目的競技場

(1) 主な特徴

- 多種の競技での利用が可能になり、スポーツの拠点と位置付けられる
- 陸上のみの利用に比べ、利用料金収入の増が見込まれるとともに、各競技の大規模大会を誘致することで、大きな経済波及効果の期待ができる
- Jリーグの開催を想定した場合、スタジアム基準など施設整備・維持管理を行うため、費用が大きくかかることが想定される
- 陸上と多目的の競技の利用調整が必要

(2) 具体例

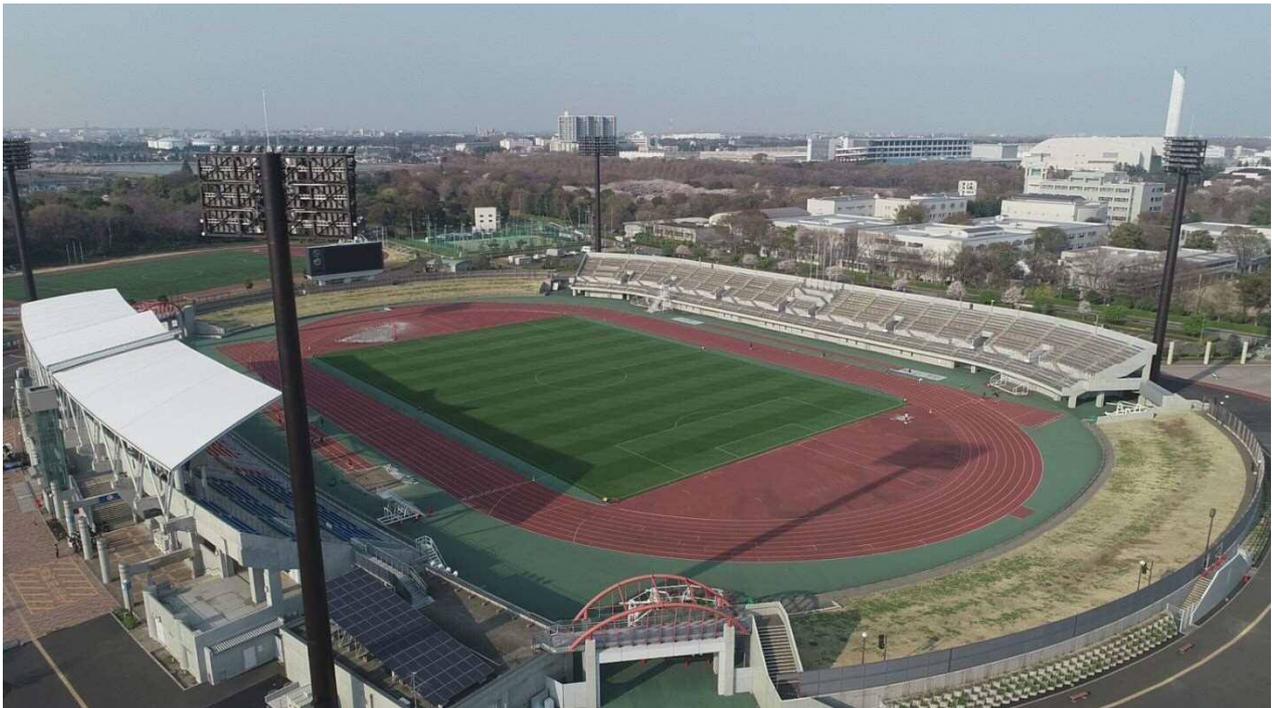
① 川崎市等々力競技場(1種・WAクラス2)

- ゴールデングランプリ、日本学生陸上競技対抗選手権などの大規模な陸上競技大会が開催されている。また、サッカーJ1の川崎フロンターレのホームスタジアムである
- 陸上の国際公認施設、JリーグJ1スタジアム基準を満たした施設でもある



② 相模原ギオンスタジアム(2種)

- 関東学生陸上競技対抗選手権大会や、サッカーJ3リーグが開催されている
- サッカーJ3のSC相模原のホームスタジアム
- サブトラックは4種競技場で、インフィールドは人工芝化(投てき競技可能)され多目的利用も可能
- メイン・サブ競技場が隣接、競技場の周りにウッドチップのランニングコースがある



3 日々の練習や強化合宿に使用される競技場

(1) 主な特徴

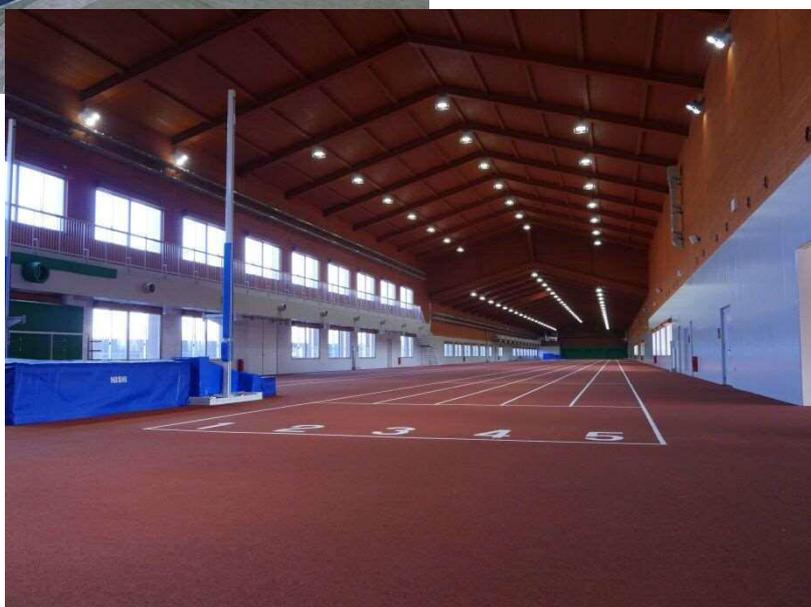
- 多目的競技場に比べ、建設・維持管理費が比較的安く抑えられる可能性がある
- 特徴ある練習施設を整備した場合(投てき専用練習場、室内練習場など)、合宿誘致によるスポーツコミッション施策の推進が期待できる
- 民間の発想を活かした場合は自由な施設運営の期待ができる
- 日々の練習の拠点のみと考えると、大規模大会の開催が難しい

(2) 具体例

ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅(鹿児島県)

※3種・日本陸連公認室内競技場

- 陸上競技のトレーニングに特化したスポーツ合宿の拠点として、平成31年4月から供用開始
- 室内陸上競技場は、空調設備を備え、国内最長150mの直送走路を有する
- 複数種目を同時に練習できる専用の投てき練習場などの施設



陸上競技場に係るコストなど

	【1種】 福井県営 陸上競技場	【1種】 博多の森 陸上競技場	【1種】 川崎市 等々力競技場	【2種】 相模原ギオン スタジアム	【2種】 四ツ池公園 陸上競技場	参考【3種】 ジャパンアスリートトレ ーニングセンター大隅
建設年	昭和 40 年	平成 2 年	昭和 43 年	平成 19 年	昭和 56 年	平成 30 年
建設費 *メイン競技場以外の建設費用含む	3,929,035 千円	6,235,896 千円	増改築を重ねているため算定不可（現メインスタンド建築費用約 8,000,000 千円）	3,461,535 千円 *当初費用	約 900,000 千円	約 4,000,000 千円
収容人員	16,000 人	約 30,000 人	27,495 人 *H27.3 月～	15,300 人	約 10,000 人	-
維持管理費 (3 か年平均) *他施設の維持費含む	37,402 千円	543,576 千円	210,277 千円	132,379 千円	49,134 千円	99,090 千円
利用料収入 (3 か年平均)	2,486 千円	4,925 千円	60,886 千円	17,798 千円	13,578 千円	8,680 千円
陸上のみ利用料収入 (3 か年平均)	2,486 千円	4,925 千円	7,559 千円	不明	13,578 千円	4,478 千円
利用者数 (3 か年平均)	93,316 人	119,712 人	623,834 人 *H30 年度 実績	205,068 人	232,928 人	41,347 人
サブトラックの状況	3 種 400m 6 レーン (直走路のみ 8 レーン)	3 種 400m 8 レーン	3 種 400m 6 レーン (直走路のみ 8 レーン)	4 種多目的 400m 6 レーン	なし 自由広場を使用	多目的広場（公認なし） 400m 4 レーン（土舗装）
Jリーグ ホームチーム	-	*1	川崎フロンターレ (J1)	SC 相模原 (J3)	-	-
主な大会	日本学生陸上競技対抗 選手権大会	日本陸上競技選手権大 会(2019)	*ゴールドングランプリ、日本学生陸上競技 対抗選手権	関東学生陸上競技対抗 選手権大会	県西部陸上選手権大会 浜松市中体連夏季総体 浜松市小学校陸上大会	地区中体連総体 地区高体連陸上大会
陸上競技以外の 使用状況	-	サッカー、ラグビー、 アメフト	川崎フロンターレホーム スタジアム(Jリーグ、 ルヴァン杯、天皇 杯等)	J3 リーグ、なでしこリ ーグ	吹奏楽野外音楽演奏会	-

出典：各施設所管自治体への聞き取り調査(スポーツ振興課実施)

*1・・・隣接(公園区域)サッカー場を J2 アビスパ福岡が使用している

*3 か年平均・・・H28～H30

*ゴールドングランプリ・・・世界陸上選手権・夏季オリンピックなどの国際大会において日本代表選手選考大会として開催されるもの
日本で唯一 IAAF 公認「ワールドチャレンジミーティングス」大会(2019 年シーズンで終了)の一環として世界の一流陸上選手を多数
招待して開催する 1 日の単発競技会としては日本最大級の大会

*ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅は平成 31 年年度開設のため利用料金収入、利用者数とも 1 年間のみ

遠州灘海浜公園（篠原地区）野球場に関わる最近の動き

概要

県は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、多額の財政負担が見込まれる施設整備計画について、総点検を行って今秋を目途に施設整備の方向性を示す旨を6月18日に表明し、本年度内に基本計画を策定予定であった遠州灘海浜公園（篠原地区）野球場に関しても、総点検の対象とされている。

県の方針

- 感染症対策による財政負担の増大や、企業収益の悪化等による県税収入の減少が見込まれ、今後、大幅な財源不足が生じる恐れがある。加えて、感染症は事業の前提となる県民意識等に変化をもたらしている。
- 感染症対策と社会経済活動の本格展開に向けた取組を確実に実施しつつ、必要な財源を確保するため、徹底した事業の見直しを実施する。
- 県立図書館や遠州灘海浜公園（篠原地区）野球場など*施設整備計画についても、多額の財政負担が見込まれることから、整備内容やスケジュール等の総点検を行い、秋を目途に施設整備の方向性を示す。

※上記2施設に加え、以下の4施設も見直し対象と想定される。

- 動物管理指導センター（浜松市）
- 農林技術研究所茶業研究センター（菊川市）
- 温水利用研究センター沼津分場（沼津市）
- 県立高校の老朽化建て替え（県内）

今後の予定

（県議会6月定例会 6月18日～7月10日 委員会7月3日、7月6日）

本日：大型公共施設建設調査特別委員会

：

県議会9月定例会 9月17日～10月13日 委員会10月5日～10月7日

：

県議会12月定例会 11月下旬～12月中旬